

高梁の教育を考える・・・

高梁市立学校再編推進審議会からの答申



平成29年5月11日に市長から「高梁市立学校再編推進審議会」に次の諮問を行い、平成30年3月23日に答申を受理しました。

① 教育環境を確保するための小中学校再編の基本的な考え方について

② 教育目標を達成するための教育施策のあり方について

市は、この答申書の内容を尊重しながら、今後の教育施策の参考にしていきます。

問 教育総務課 ☎(21)15000

審議会としての基本的な考え方



やまべ ただし
会長 山部 正さん
(元順正短期大学 学長)

審議会では、小規模校のメリットを生かしながらデメリットを解決する方法を追求・実践し、学校の持つ魅力を高め、児童・生徒の教育を保障していくこと、地域の核としての学校の役割も考慮し最終的な手段として再編について検討することが必要との結論に達しました。

特に小学校では、地域との関わりも強く、通学範囲の問題もあるため、教育環境が確保できる限り存続させる方向で考えていく内容となっています。

中学校では、生徒が多様な価値観などに触れること、自己を確立する多感な年齢であることを考慮し、一定の規模が必要であることを重要視しています。

小・中学校の現状

児童・生徒数

市の児童・生徒数は徐々に減少し、平成29年度は児童・生徒合わせて1881人となり、合併直後の平成17年度と比較して780人減少しています。

学校の規模

平成29年度は、小学校15校のうち8校で複式学級編制となっています。平成35年度には5小学校が全校児童20人以下、そのうち2校は10人以下となり、全学校の8割にあたる12校で複式学級編制となることが予測されています。

		平成 17 年度	平成 29 年度	平成 35 年度
小学校	児童数 (人)	1,639	1,209	1,053
	学級数 (学級)	103	75	74
	教員数 (人)	143	104	103
中学校	生徒数 (人)	1,022	672	579
	学級数 (学級)	34	28	25
	教員数 (人)	72	61	58

※平成29年5月1日現在

児童数が15人未満となった場合には教頭が担任を兼ねるため、平成35年度には同じ複式学級であっても、3小学校については校長・教頭を含めた教員数が4人になる可能性があります。

中学校は複式学級(2学級以下)編制がないものの、平成41年度には4中学校で生徒数が50人以下となることが予測されています。

単位：校

	旧高梁市	有漢町	成羽町	川上町	備中町
小学校数	10	2	1	1	1
複式学級 (平成 29 年度)	6	1	0	0	1
複式学級 (平成 35 年度)	8	2	0	1	1

学校再編推進審議会とは

市立小学校および中学校の教育の充実に向けた再編などについて必要な事項を審議するため、平成29年度に初めて設置され、市内各中学校区での意見聴取会の開催など15回にわたり審議を行いました。

審議会の委員定数は15人以内となっており、今回は学識経験者7人、市議会代表2人、PTA代表6人の15人で構成されました。



市ホームページ

詳しくは...

高梁市立学校再編推進審議会

検索